



築上町社会福祉協議会

No.86

2023(令和5年).5.1

社協だより

いつもご寄付ありがとうございます!!



皆様のご協力のおかげで
子ども食堂は6年目に入りました



Facebook



Twitter



Instagram



この機関紙は、赤い羽根共同募金の配分金の一部で作成しました。

令和5年度 築上町社会福祉協議会事業計画

基本方針

令和元年に流行し始めた新型コロナウイルス感染症の影響により生活様式が変化し、失業や失職などにより増加した生活困窮世帯の支援が考えられている今、コロナ禍の生活による認知症高齢者の増加、課題を抱える世帯の表出など新たな課題が出てきています。

私たち築上町社会福祉協議会においては、時代の変化に伴う経営戦略が必要とされています。

複合的で複雑化、多様化した地域課題や個別課題の対応に向け、それぞれの課題に対し解決していくことができる包括的な支援の体制づくりが求められています。そのためには関係機関との連携・協働により、地域生活課題の解決に取り組み、地域住民とともに築上町の地域社会にある福祉について協議する組織として事業を展開していきます。

重点的に取り組む事業

◆地域支えあいの仕組みづくりの推進

1. 属性や世代に関わらず受け止め、包括的な支援体制の構築に向けた事業・活動の推進
2. 多様化、深刻化する地域の社会的孤立の問題や制度の対象とならないような生活支援に対応できるよう協力体制の構築
3. 生活支援事業の啓発に重点を置き、人と人との繋がりの強化や助け合いの再構築に取り組む
4. 組織内の共通認識と組織内目標（連携体制づくり）の強化
5. 職員育成の体制づくりとともに働きやすく、やりがいの感じられる職場づくりを進める
6. 共生社会の実現に向けて地域の方々や関係機関との連携・協働

◆個別課題への対応の強化

1. 地域社会において孤立した方や課題を抱える人（生活困窮、引きこもり等）の相談支援
2. 困難事例の支援体制と多機関及び社会福祉法人の持つ専門職との連携
3. 既存のサービスや制度にはない新たなインフォーマルサービスの創出
4. 子ども食堂を通じて地域との関係づくり

◆地域福祉における総合相談の体制

1. 地域課題及び地域支援としての総合的な相談支援の体制づくり（関係機関との連携強化）
2. 防災研修等を通じて地域の福祉力の強化（見守り活動や自主防災機能の支援）
3. 社会福祉法人連絡会による地域における公益的な活動の推進
4. 住民主体の福祉活動、生活支援サービスの推進・支援（移送、買い物支援等）



令和5年度 築上町社会福祉協議会予算

単位：千円

区分	勘定科目	予算額	備 考
事業活動による収支	収入		
	会費収入	2,500	令和5年度の会費収入
	寄附金収入	2,530	一般寄付、香典返し
	経常経費補助金収入	59,282	社会福祉事業に対する補助金及び県共同募金会からの配分金収入等
	受託金収入	176,381	児童館、築城・椎田センター管理料及び在宅サービス委託料等
	事業収入	15,153	食の自立支援事業、築城・椎田センター入浴料等
	受取利息配当金収入	1	預金利息
	その他の収入	374	自動販売機手数料、常設バザーの収入等
	事業活動収入計 (1)	256,221	
	支出		
	人件費及び事務費支出	152,453	職員人件費及び事務的経費
	事業費支出	102,703	町受託事業、地域福祉事業（子ども食堂含む）の事業経費
	助成金支出	1,793	各種団体助成金等
	事業活動支出計 (2)	256,949	
	事業活動資金収支差額 (3)=(1)-(2)	△728	
施設整備等による収支	収入		
	施設整備等収入計 (4)	0	
	支出		
	ファイナンス・リース債務の返済支出	1,232	
	施設整備等支出計 (5)	1,232	
	施設整備等資金収支差額 (6)=(4)-(5)	△1,232	
その他の活動による収支	収入		
	サービス区分間繰入金収入	3,070	
	その他の活動収入計 (7)	3,070	
	支出		
	サービス区分間繰入金支出	3,070	
	その他の活動による支出	3,537	
	その他の活動支出計 (8)	6,607	
	その他の活動資金収支差額 (9)=(7)-(8)	△3,537	
当期資金収支差額合計 (10)=(3)+(6)+(9)		△5,497	
前期末支払資金残高 (11)		7,997	前年度繰越金
当期末支払資金残高 (10)+(11)		2,500	次年度繰越金

広報部会 より

広報部会 久米 明実

子ども食堂に参加して

ちくじょう子ども食堂

築上町社会福祉センター「自愛の家」で毎月第2・第4金曜日（16：00～19：00）オープン！夕食は17：30からです。親子連れや地域の皆さん、どなたでも大歓迎。子ども一人でもOK!!一緒に食卓を囲みましょう。



毎月第2・第4金曜日は子ども食堂の日です。少しずつ春のあたたかさを感じるようになった3月10日、5歳と3歳の子どもを連れて「子ども食堂」を利用させていただきました。

この日調理してくださったのは「築上町生活学校」さん。17時30分の食事提供に合わせて、なんと13時から調理されていました。「今日のご飯なにかなー？」と5歳の息子はワクワク。美味しそうな匂いがうっすらとする正面玄関で手の消毒を済ませて、メニューが書いてある看板を見ながら受付の列に並んでいると、「よっしゃー！今日は唐揚げだ！お前食べきれなかったら、俺もらってやるけんねー！」と楽しそうに友達と話す男の子の声が聞こえました。その日用意されていた80食分のチケットは17時40分には完売とのこと。

17時30分。食事提供の時間になると、配膳窓口の前は長蛇の列です。子ども2人を連れて3人分の食事を運ばずにいると、ボランティアスタッフさんが「席まで運んであげるよ。」と手伝ってくださいました。席についてお茶を取り忘れたことに気づくと、隣のテーブルに座っていた小学生の女の子が「お茶、そこでもらえるよ！取ってきてあげる！」と。子ども食堂の利用が初めての子連れのママさんは「駐車場からここまで案内してくれて、配膳まで手伝ってくれた方がいて本当にありがたかった～！」と、どうやら子ども食堂を利用されている年配の方が助けてくれたそうです。



いただきますの声があちらこちらで聞こえ、お話しをしながら食べる子、一瞬で食べ終わって外に遊びに出かける子、デザートから食べ始める子、それぞれですが皆さん賑やかに食事を楽しんでいました。メインの唐揚げはもちろん、全てとても美味しかったです。ご馳走様でした！

3歳の娘が眠い目をこすりながら食べていると「頑張れー！」とボランティアスタッフのお姉さんが応援してくれました。「私、ハーフなんやけど、どこのハーフかわかる？」と気さくに話してくれるスタッフさんとの会話も楽しい。食事途中でお酢ドリンクの差し入れがあり「やったー！！」という歓声。ワークランド・こすもすさんからのロールケーキのお土産は帰宅後のデザートにいただきました。

「小学校は違うけど、ここで会える友達もいるし、みんなでご飯食べれて楽しい！」と待ち合わせて利用している小学生。「子ども食堂の日は夜ご飯を作らなくていいから、ゆっくり子どもと電車をみたり公園で遊んであげたりすることが出来て助かります。」「毎日のメニューの参考になるし、ママ友と会った時は育児相談や情報交換できるからありがたい。」というご家族。「ここに来るとあたたかいご飯が食べられるし、賑やかだよ。何かあれば手伝いますよ。」とお一人やご友人と一緒に年配の方。

全国で「子ども食堂」が発足した当初の目的は、貧困家庭や孤食の子どもに対して栄養ある食事や、あたたかな団らんを提供する場の事でした。しかし、近年は親や地域の人々など誰でも利用できる食堂が増え、地域交流や子どもの見守りの場など、地域に開かれたコミュニティの場としての役割も担っているのだそうです。築上町の子ども食堂は、まさにそのような場だなと感じました。食材等をご提供くださる方、調理してくださる団体様、このような場を提供して下さる社会福祉協議会のスタッフさんに感謝し、また利用させていただこうと思います。

皆さんもぜひ、子ども食堂に足を運んでみてはいかがでしょうか。



寄付金のお礼

築上町社会福祉協議会に次の方々よりご寄付をいただきました。ご芳情に対して厚くお礼申し上げます。

この浄財は、社会福祉事業を推進するために、大切に使用させていただきます。

なお、社会福祉協議会へご寄付された場合は、所得税の控除対象となります。

(令和5年2月15日・令和5年4月14日受付分まで掲載)

香典返し

椎田地区

〔椎田中〕坂本 國 増様 (亡妻 貞子様)
〔臼田〕成吉 瑞 枝様 (亡夫 暲計様)
〔西高塚〕尾座本 澄 子様 (亡夫 彰一様)

〔宇留津〕石井 郁 之様 (亡夫 六男様)
〔東八田〕中川 英 治様 (亡母 幸子様)
〔宇留津〕中川 弥 生様 (亡夫 孝子様)
〔東八田〕村岡 輝 美様 (亡夫 洋右様)

〔越路〕松村 範 子様 (亡夫 純一様)
〔越路〕久保 善 道様 (亡妻 志保様)
〔越路〕田村 ミサ工様 (亡夫 義高様)

〔上田奈古〕長尾 慎 二様 (亡母 律子様)
〔上田奈古〕進 須 香代子様 (亡夫 清美様)
〔上田奈古〕中 須 真 介様 (亡母 マサ工様)
〔上田奈古〕加 生 順 一様 (亡母 カズ工様)

築城地区

〔寒田〕松田 洋 子様 (亡夫 徹様)
〔下香染〕高橋 尚 子様 (亡夫 延敏様)
〔下小山田〕中山 比紗子様 (亡夫 勝美様)

〔船迫〕山 口 栄 治様 (亡兄 定章様)
〔船迫〕山 口 栄 治様 (亡母 ヨシ工様)

町外

一般寄付

八野 繁夫様
匿名希望1名様

ふるさと回想

「本庄の大楠の思い出」

九州大学名誉教授 大住 圭介 (福岡市在住 75歳)

一九四七年に旧築城町の下本庄で生まれ、大楠を四季折々の自然の一部のように感じて育ちました。

上城井小学校時代、校歌の歌詞に「かみさびたてにくすのきに遠き昔をしのぼる」とあり、大楠は幾世代にもわたって郷土を見守ってきたのであろうと漠然と思っていましたが、詳しいことは知りませんでした。大楠宮・小楠宮社記に、景行天皇が京都

郡の御所ヶ谷の飯宮におられたときに、そこから三里の範囲で山河清浄の良地として築城郡城井本庄の郷を選ばれ、楠樹一本を植えられたと記述がありました。大楠は樹齢二〇〇〇年を迎えようとしている尊い木です。

そのような尊い木とは知らず、小学生のころの休日に、よく友達と一緒に大楠の太い幹と根の上で鬼ごっこをして遊んでいました。現在では大楠の保護のための規制があり近づくことはできませんが、当時は自由に遊ぶことができました。小学校の低学年時に、年長者達は大枝のところの窪みまで登っていて、羨ましく感じていました。なんとか登ろうと試みましたが、握力も脚力も弱く、しかも大楠の樹肌は滑りやすく何度挑戦してもずると滑って落ちるばかりでした。必死に両手を大楠の樹肌に密着させて左右の足とバランスさせるタイミングとコツが必要でした。あるとき鉄棒の逆上がりのように、ふとしたことでコツを掴んで成功し、大枝の上から眺めたときは誇らしく爽快でした。当時の記憶が昨

日のように蘇ってきます。

また、大楠宮・小楠宮社記に、「神田を作る者は毎年の祭りを歳に一度行う事」とありました。私の子ども時代にはこの神田が実在しており、下本庄地区の数軒が輪番で神田を耕作し、収穫後に祭り(「おきびね」と呼ばれていたと記憶しており、「御貴船」の意味だと思う)が執り行われていました。何世代にもわたって連綿と神田の耕作と祭りが行われてきたと思うと感慨深く、古い記録上の記述が実際の子ども時代の記憶と合致したことは不思議な感じでした。

大楠は私にとって記憶に刻まれた無二の樹です。

二〇〇〇年に数理経済学に関する英文の専門書を九州大学出版会から刊行する際に、本庄の大楠の写真を表紙に使いました。出版会の編集長が私的な要望を聞き入れ、本庄まで写真を撮りに来てくれたのです。お世話になった恩師のマッケンジー教授をはじめ五十名ほどの海外の研究者に献本したので、米国・英国・独逸・中国等の研究者の書棚に大楠の写真が飾られていることでしょう。これも大楠にまつわる懐かしい思い出です。

最後に、下本庄の大楠会の皆さんの活動に感謝しています。毎年、ご支援により大楠の前で演奏会や花火大会が開催されていると伺っています。末永く、大楠と人々との交流が続くことを祈念しています。



いぶき
田中 衣舞妃

4月より築上町社会福祉協議会職員として採用されました、田中衣舞妃と申します。

私が社会福祉協議会を知り、福祉の仕事に就きたいと思い始めたのは3月まで通っていた専門学校がきっかけです。「自愛の家」の存在や、そこでどのような活動・取り組みが行われているのかを調べると、自分が小学生の頃に利用していた学童保育や一人親の方々への支援、その他にも子ども食堂など地域の方を支援する様々な取り組みに社会福祉協議会が携わっていることが分かりました。もともと私は、地域の方を支援する仕事に就きたいと思い専門学校に通っていたので地域の方の近くで様々な支援を行っている社会福祉協議会に入社することができとても嬉しく思っています。

社会経験は初めてなので、ご迷惑をおかけすることがあるかと思いますが、一日でも早く仕事を覚え築上町に住む方々が安心した暮らしが出来るよう精一杯頑張りますので、よろしくお願いします。



しほり
田中 志歩理

4月より築上町社会福祉協議会で勤務しております、田中志歩理と申します。

新入職員は2人とも名字が田中なので覚えて頂きやすいかと思います。

初出勤は正直緊張しましたが、築上町社会福祉協議会の職員の皆様に暖かく迎えていただきほっとしたのと同時に一員となったことに身の引き締まるような思いです。

以前は社会福祉法人で約5年、行政で約1年務めて参りました。どちらも健康や栄養に関する業務を行って参りました。町民の方々がいきいきと築上町で過ごせるためにはどうしたらいいのか考えた際、福祉の分野の関心が強くなりました。今後は子ども食堂やイベント等地域福祉担当として勤務させていただきます。気軽に声をかけて頂けると幸いです。

前職とは違う職種のため不慣れな点が多く、皆様に一から教えを頂くことばかりでご迷惑をおかけすることも多いかと思います。とにかく一日も早く仕事を覚え、町民の方々に貢献できる頑張りますのでご指導のほどよろしくお願いします。

退職にあたり

平成5年 旧

椎田町社会福祉協議会に入職。

浅学菲才な私ではありましたが、爾来三十年。なんとか定年まで職務を全うできたのも、「周りの人たちに恵まれた。」の一言に尽きます。

在職中は、築上町の地域の皆様をはじめ、関係の皆様との様々な出会い。そして別れの中、お褒めの言葉、ときに厳しいお叱り。また、慰められ、支えられ切磋琢磨しながら人間的にも大きく成長させていただき、築上町社会福祉協議会に在職させていただいたことに「感謝」の一言です。

特に手掛けてきた仕事の中で、子どもだった子が成長し、ボランティアに参加し、さらには父親、母親となって社協の事業に携わってくれたことには言葉に表せない喜びがありました。

今後はお世話になった築上町に少しでも恩返しできればと思います。

令和五年三月三十一日 島本 晴





知らんやった！ 地域は宝の山やあ〜〜ん



築上町社会福祉協議会 生活支援コーディネーター 吉留 加奈

築上町見守り協力員研修



令和5年3月2日に、築上町見守り協力員研修が開催されました。
ひとり暮らし高齢者等見守りネットワーク事業は、地域に暮らすひとり暮らしの高齢者や支援を必要とする方を対象に、民生委員さんや見守り協力員さんが訪問して「見守り（安否確認）」「話し相手」「外からの見守り（カーテンの開閉、電気の点灯、郵便ポストのたまり具合）」などの活動を行っています。
年に1回、見守り協力員さんや地域福祉に関心のある方を対象に研修を行っており、今回は医療法人 社団 祥和会 大川病院 ふるさと苑 師長 末吉 正和氏と大川劇団のみなさんを講師に迎え、「認知症の初期症状と対応の仕方」について学びました。

今回の研修では、アルツハイマー型認知症の方にみられる症状や問題行動と、その対応の仕方のポイントを学び、大川劇団のみなさんによる、認知症の方の【物とられ妄想】や【徘徊】の症状と対応の仕方についての寸劇が行われました。



《対応のポイント》

【物とられ妄想】

- ①話をゆっくりと聞く。
- ②否定をしない。
- ③一緒に探す。



【徘徊】

- ①地域の方に知らせておく。
- ②声をかける時は、前の方から視野に入ってから声をかける。



認知症になっても、できることはたくさんあります。

周りの方の声かけやちょっとしたお手伝いであることが増えて、日頃の暮らしを穏やかに過ごすことができます。

今回の研修を通じて、私たちが認知症について正しく理解し、認知症の方の気持ちを汲んで、地域の中で支えていくことが大切であると同時に、民生委員さんや見守り協力員さんの活動が、地域のみなさんの暮らしを支え、住民の方の声を届けてくれます。築上町に見守りと支え合いが広がって、誰もが住み慣れた地域で安心して長く暮らしていけるように、これからもみなさんと共に取り組んでいきたいと思っています。

フードバンクへ食品などのご寄付をいただきました

(令和5年2月15日～4月14日受付分まで掲載)

- ・ワークランド こすもす 様 ・築城郵便局 様
- ・社会福祉法人 英明会 様
- ・社会福祉法人 大幸会 様
- ・八津田校区民有志 様 ・伊三郎製ぱん 苅田店 様
- ・風和里くらぶ 様 ・匿名希望4名 様

ちくじょう子ども食堂へ食材等のご寄付をいただきました

(令和5年2月15日～4月14日受付分まで掲載)

- ・吉留 一富 様 ・井上 俊明 様 ・宮内 諭 様 ・久保 直人 様
- ・日高 清治 様 ・安部味噌製造所 様 ・からあげ鳳翔 様
- ・結いの石窯パン 様 ・ワークランド こすもす 様
- ・医療法人 宮崎リハビリテーション医院 様
- ・築上町ボランティア連絡協議会 様 ・エースいちご 様
- ・社会福祉法人 大幸会 様 ・匿名希望9名 様

新緑が目には鮮やかな、すがすがしい季節となりました。
町内の公園は、春を待ちわびていた子どもたちの賑やかな声であふれ、3歳の私の娘は、シロツメクサで作った花冠を頭にのせて「わたしプリンセスみたい？」と得意げです。
メタセの杜で買った、子供たちの大好きなキュウリをポリポリいただきながら、「どうもころし、まだかなあ！はやくたべたいね」と、スイートコーンが待ち遠しくて仕方ありません。
四季折々、その日とれたばかりの美味しいお野菜や果物をいただくことができるこの環境は、幸せだなあといつも思います。今年も京築の恵あふれる1年になりますように！

